



# ヤマガキ [山柿]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** カキノキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

里山のカキノキが朱赤に色づくると、ほのぼのとした秋景色になる。ヤマガキは渋いが、古くから未熟の実から柿渋をとったり栽培品種の台木に利用されてきた。栽培品種に比べ葉は小型で裏には白っぽい短毛がある。本州中部以西に生育するが、自生地は日本説、中国説がある。



## Memo

古くから人名や地名、文献にもよく登場する。秋景色の添景としても日本人に馴染深い木である。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期						■	■						
🍎 果実										■	■	■	■
🍂 紅葉・黄葉											■	■	
🌱 施肥													
✂️ 剪定		■	■	■				★★★					■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○	○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
					○	○	○

## ポイント

庭木として1株植えると、実が色づく姿が秋の添景になる。実は渋くそのままでは食べられないが、葉が小型で庭木向き。初夏に雄花と雌花を別々につける。渋柿は自家結実性が強く単独でも結実する。

## 剪定

古枝、弱々しい枝を切除し元気な新枝を残すと、翌年の結実がよくなる。放任すると、隔年結果（1年置きに実をつける）になりやすい。株の周りから伸びるひこばえは切除する。

## 病虫害

注意したいのが「カキノヘタムシガ（カキミガ）」。幼虫が5月7月の年2回発生し'ヘタ'の部分から実を食害するため落果する。また、熟した果実はカラスが狙うので注意。

呼べる鳥



[ヤマガラ](#)・アオバト・シロハラ  
アオゲラ・[メジロ](#)・エナガ・[コゲラ](#)  
[アカハラ](#)